



協 児 民 県
誌 報 情 広
号 第 29 号



「暮らしに福をもたらす人」

沖縄県民生委員児童協議会
事務所
沖縄県総合福祉センター
連絡先
TEL.(098)882-5813
FAX.(098)882-5814

新年のごあいさつ

沖縄県民生委員児童協議会
会長 宮国 泰雄



明けましておめでとうござい
ます。皆さまにはご家族共々ご
健勝にて、素晴らしい新春をお
迎えになられたことと心よりお
慶び申し上げます。

さて、わが国の社会福祉の分
野は、新たな制度の立ち上げや
制度の改正が進められてきまし
た。全民児連は「民生委員制度創
設90周年活動強化方策」で「広げ
よう 地域に根ざした 思いや
り」をスローガンに決定しまし
た。現在の社会状況の中で、私た
ち民生委員児童委員が何をして

行けば良いかを簡潔、明瞭に表
現しています。人の暮らしには
思いやりが大切です。家族はも
ちろん隣近所、さらには地域社
会でお互いがお互いを思いやる
気持ちを持つて共に生活してい
くことが不可欠です。こうした
思いやりが広がっていくことに
よって、孤立する人が減り、安全
で安心なまちづくりに繋がって
いくと思います。

このような中、私たち民生委
員・児童委員は「安心して住み続
けることができる地域社会づく
り」「孤立・孤独をなくす運動」「児
童虐待や犯罪被害から子どもを
守る運動」など重点的に取り組
んでいかなければなりません。
また、近年わが国においては、地
震に加えて台風などによる風水
害も多発しており、今多くの地
域住民が自然災害を被っており

ます。沖縄県においても引き続
き第2次「民生委員・児童委員発
災時一人も見逃さない運動」
を取り組んでおりますが、この
運動では、全国の民児協で要援
護者台帳を整備し、それに基づ
いた災害福祉マップを作成する
ことを目指しています。日ごろ
の見守り活動を通じて、災害時
の救助や避難などの場面で、支
援を必要とする高齢者や障害者
などの要援護者の情報を的確に
行政や消防など関係機関・団体
に繋げるにより、災害対応
において地域社会に貢献するこ
とを出発点にした取り組みです。
すでにそれぞれの地域にあった
さまざまな取り組みが進められ、
地域の要援護者の安全・安心に
繋げる活動を展開しているこ
ろです。

今後とも県内全民生委員・児
童委員が協働の精神で、組織の
充実を図りつつ、地域住民のつ
ながりを築き、誰もが住みなれ
た地域で安全・安心して自立し
た生活が送れるような社会の実
現に努力していきたいと存じま

すので、一層のご支援とご指導
をお願い申し上げ、新年のごあ
いさつと致します。

「子どもかるた」を つくって地域交流

豊見城市第2民児協

私たち豊見城市第2民児協に
おいては、本年7月に開催され
た世代間ふれあい地域交流会で
念願のとみぐすく版「子どもか
るた」をお披露目することがで
きました。

「かるた」作りのきっかけは、



県外研修における新潟県「ふく
しかるた」との出会いです。

当時、第2民児協では、子育て
サロン活動が始まっており、若
い母親達や民生委員・児童委員
の間でかるた作りの話題があが
ったものの、子育てする母親側
からの具体的な表現(文言)とな
ると、さあ大変。一向に捗らない
まま2年が経過しました。

思案に沈み、話し合いを続け
るうちに「かるた」で遊ぶのは子
どもであるから名称を「子ども
かるた」に発想を変えたところ、
案ずるが生むが易し、どんどん



と出来上がり内容は、あくまで
も豊見城市にこだわりました。「健
やかで心やさしく素直な子に育
つように」と母の願いを込めた
文言にすることとし子育てサロ
ンの母親や民生委員・児童委員
から募りました。そして、主任児
童委員と、民児協役員が作成委
員となり、文言、絵札の選定に当
りました。

それこそ、「母の愛」がこもつ
たかるたです。汚れや破損を防
ぐ為、ラミネート加工をし、絵札
は厚紙で裏打ちし取り易いよう
に工夫し、市や民児協が主催す
るまつりやイベント等で活用し
老若男女みんな楽しんでおり
ます。

なお、この「かるた」は11月に
行われましたとみぐすく心身
障害者福祉まつりにおいて市
内の小学校と幼稚園に寄贈さ
れました。

私たち民児協は、「子どもかる
た」が家族や学校、地域で多くの
人に愛され、更に、今後青少年の
健全育成に寄与できることを願
っております。

「平成20年度組織間連携を 重視した防災・減災セミナー」 開催される!

12月1日(月)に開催しました
みだしのセミナーには、61単位
民児協と20社協、その他2団体
から多くの参加をいただきました。
当日は、5時間という長時間
な研修にも関わらず大変盛況に
終わりました。

今回のセミナーは、県社協(ボ
ランティア・市民活動支援セン
ター)、との共催により開催した
もので、全県規模で市町村社協
と民児協が「防災・減災」とい
うテーマの研修会は、全国でも例
がないようです。

特に、午後のワークショップ
では、災害発生前後の「被害状況」、



「要援護者
と支援者
の動き」、
被災地の社協
民児協の
対応」、「被
災自治体
の対応な
どについて



時系列的
に社協や
民児協(民
生委員)の
取り組みべ
き内容等につ
いてカー
ド形式で議
論しました。
多くの民児
協参加者は、

始めはグループ作業に手間取っ
ておりましたが、各グループと
も次第に熱を帯び、成果物を仕
上げていきました。

本セミナーは、基本的に同一
市町村の民児協と社協が、地域
の実情を踏まえて「防災・減災」
への取り組みを促すことを目的
としていますので、民児協定例
会や社協側との研修会等におい
て取り組んでいたいただきますよ
うよろしくお願いいたします。

すでに、セミナーの成果を踏
まえ市町村単位でセンター集
会を開催する動きが広まって
います。